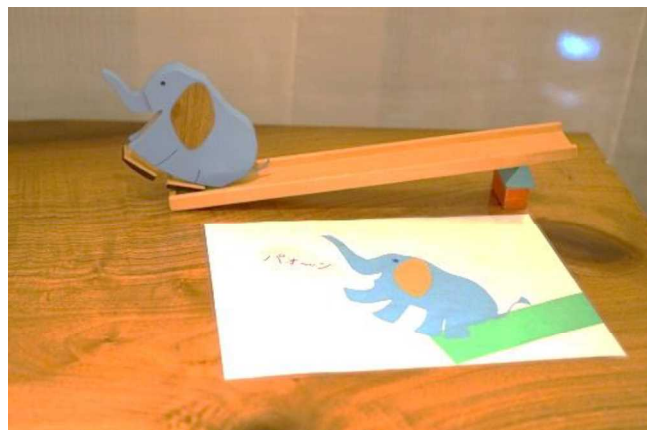
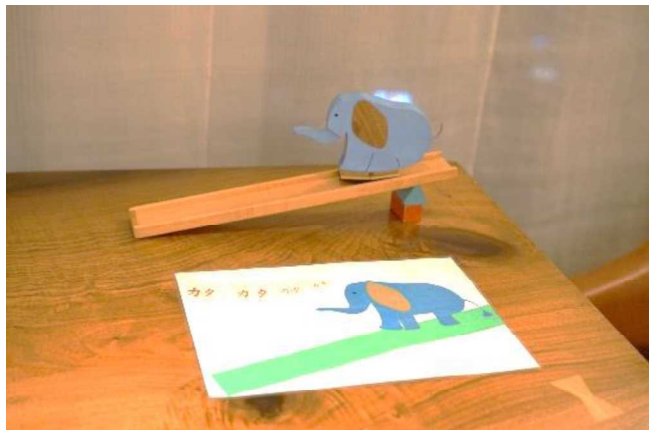


事例・教材 カタカタぞうさん

狙い・ターゲット： 発音不明瞭なお子さん。パ、タ、カと単に言わせようとしても言ってくれないような幼児さんにどの音が出来ていてどの音がまだ言えていない音かな？というのをざっくりと探るための遊び。歯茎音、軟口蓋音、口唇音を検査されているとお子さんにさとられずに、無理なく言ってもらえる遊び。

写真；



目的	パ・タ・カで両唇音、歯茎音、軟口蓋音を言ってもらい、出来る音、出来ていない音をざっくりと知るための遊び
使用教材	<p>・カタカタぞうさん</p> <p>(坂道をカタカタと下っていくおもちゃです。一般のおもちゃ屋さんに 3000 円程度で売っています。ぞうさん以外にアヒル、ハリネズミ、人間などの形も出ていますが、最後にパオーンというゾウの鳴き声で両唇音も聞き取り出来るのでぞうさんがいいと思います。)</p>
内容、方法	<p>1) カタカタぞうさんをお子さんに見せ、「せまい坂道を下っていくんだけど、途中で倒れないように応援してあげようね。カタカタっていう足音たてて進んで行くから〇〇君も一緒にカタカタカタカタ・・・と言って応援してあげよう！そして無事に下まで到着したら、おめでとうの気持ちを込めて『パオーン』って言ってみよう。」などと声かけをする。</p> <p>2) まずはS Tがゾウを坂の上にそっと置き、カタカタ下る様子を見せながら、S Tが「カタカタカタ・・・」と言う。その時お子さんも言えそうだったら一緒に言ってもらう。</p> <p>3) 無事に下に着いたら、やったね！という笑顔やジェスチャーと共に「パオーン」と言う。</p>
方法（補足）	<p>ここでは坂道の角度を調節できるように自前のブロックを使用しています。元々付属の物は高さが決まっていますが、自前のブロックだと縦に置いたり横に2つ重ねたりして坂の傾斜を変える事が出来ます。傾斜によりゾウが早く進んだり、ゆっくり進んだりする様子を楽しんでもらっている間にS Tはじっくり軟口蓋音と歯茎音を聞き取ることが出来ます。その際、検査している目で見つめず、あくまでも一緒にカタカタと言うなどして笑顔で楽しんでくださいね。</p>